

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	日本事情	担当教員	一般科目(人文)教員			
学年学科	4年 留学生	後期	必修	単位数	1 単位	
学習・教育目標	(C-1) 30% (A-1) 70%					
授業の目標と期待される効果： これまでの日本事情に関する知識を基に、現代日本の社会的現象、諸問題、及び文化についての知識と理解を深める。			成績評価の方法： 定期試験 100 点＋平常試験・課題 200 点 得点率 (%) で成績をつける。			
			達成度評価の基準： <ul style="list-style-type: none"> ・日本事情に関する用語の理解度を測る試験で 6 割以上できる。 ・日本事情に関する基礎的用語を 6 割以上の的確さで説明できる。 ・現代日本の社会的現象や諸問題の理解度を測る試験で 6 割以上できる。 ・現代日本の主な社会的現象や問題を 6 割以上の的確さで述べることができる。 			
			授業の進め方とアドバイス： 授業では生教材(新聞・雑誌等)が使用されるので、日頃から新聞や雑誌を読むように心がけること。また興味を持った事柄に対して自分なりに調べ、自分なりの意見をまとめて授業に臨むこと。受講者の理解度や興味関心に応じて、進度やテーマを適宜変更する可能性もある。			
教科書および参考書： 生教材を使用するため特定の教科書は使用しない。						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：ガイダンス						
第 2 回：「文化」をテーマとして						
第 3 回：「文化」をテーマとして						
第 4 回：「風習」をテーマとして						
第 5 回：「風習」をテーマとして						
第 6 回：「家庭」をテーマとして						
第 7 回：「家庭」をテーマとして						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：「社会」をテーマとして						
第 10 回：「社会」をテーマとして						
第 11 回：「芸術」をテーマとして						
第 12 回：「芸術」をテーマとして						
第 13 回：「政治」をテーマとして						
第 14 回：「政治」をテーマとして						
期末試験						
第 15 回：総復習 (期末試験の解答の解説など)						

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	日本事情に関する用語の理解度に関する問題を、ほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	日本事情に関する用語の理解度に関する問題を、ほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	日本事情に関する用語の理解度に関する問題を、解くことができない。
②	日本事情に関する基礎的用語を、ほぼ正確に(8割以上)説明できる。	日本事情に関する基礎的用語を、ほぼ正確に(6割以上)説明できる。	日本事情に関する基礎的用語を説明できない。
③	現代日本の社会的現象や諸問題の理解度を測る問題を、ほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	現代日本の社会的現象や諸問題の理解度を測る問題を、ほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	現代日本の社会的現象や諸問題の理解度を測る問題を解くことが出来ない。
④	現代日本の主な社会的現象や問題を、ほぼ正確(8割以上)に説明できる。	現代日本の主な社会的現象や問題を、ほぼ正確(6割以上)に説明できる。	現代日本の主な社会的現象や問題を説明できない。